

事 務 連 絡

令和6年7月29日

各都道府県薬務主管課 御中

厚生労働省医薬局総務課  
医薬品副作用被害対策室

薬害教育教材「薬害を学ぼう」の配布について（令和6年度用）

日頃より厚生労働行政にご理解・ご協力いただき誠に有り難うございます。

標記教材については、本年も全国の各高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）及び全国の各中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）に対し、7月下旬頃から、高等学校には高校1年生人数分程度、中学校には教材紹介のために各校1部ずつ順次発送いたします。令和6年6月に、さらに教材を活用しやすくなるよう、「薬害を学ぼう」や教員用参考資料、視聴覚教材を改訂しております。詳細は別添をご確認ください。

つきましては、本教材を活用した授業が各学校で行われるよう、各教育委員会、各高等学校及び各中学校の教育機関に対して積極的に働きかけを行っていただく等、特段の御配慮をお願いいたします。

また、授業実施方法等について各学校より相談があった場合には、地域の薬剤師会や被害者団体等の関係団体と意見交換しながら、効果的な授業実施方法について助言いただくなどご協力をお願いいたします。

担 当

厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室

大島、鶴池、久保、江口、小関

電話 03-5253-1111（内線 2718、2719）

（夜間 03-3595-2400）

メール [fukutai01@mhlw.go.jp](mailto:fukutai01@mhlw.go.jp)

# 「薬害教育教材」を活用してみませんか？

実践例も増えています



多様な教材と指導の参考資料  
同封しています

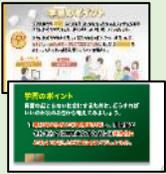
令和6年6月改訂  
改訂内容は裏面へ



「薬害を学ぼう」  
…生徒配布用の教材です  
＜高校1年生の人数分を同封＞



「指導の手引き」  
…指導のポイント等を記載した  
教諭向け資料です  
＜1冊同封＞



「視聴覚教材」  
…動画教材（全体編・パート別）  
を無料で公開しています  
＜DVDを1枚同封＞  
＜厚生労働省YouTubeでも公開＞



「実践事例集」  
…実際に授業に取り組んだ  
実践例をまとめた教諭向け  
資料です ＜1冊同封＞

厚生労働省ホームページで各教材の電子媒体・動画のリンク  
・関連サイトなどを見ることができます



薬害を学ぼう 検索

HPもリニューアル



## 様々な場面で活用可能

公民科（公共/政治・経済）や保健体育を  
中心に、様々な場面で活用されています  
学校薬剤師の方との連携もおすすめです



出典：令和5年度薬害教育教材に関するアンケート調査結果



## 授業サポートも可能 講師派遣もできます

厚生労働省職員による各種サポートを  
受けることができます  
モデル授業を実践していただける場合は  
「実践事例集」への掲載も可能です

- 教材内容の御不明点等の説明
- 授業実施や授業計画策定に当たる  
アドバイス(現地打合せやオンライン)
- 薬害被害者の方の講師派遣 など

詳しくは裏面をご覧ください

## 教員の皆さまの声がよりよい教材づくりに活かされています



Webアンケートへの回答にご協力ください  
教材を使わなかった方の御意見も歓迎です



【回答期限】

令和6年12月27日(金)17時

[https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/202406\\_01yakugai](https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/202406_01yakugai)



## 令和6年6月の主な改訂内容

より見やすく、より使いやすく！

### 「薬害を学ぼう」



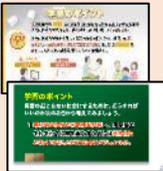
- ▶ 各ページに対応する動画のQRコード(二次元バーコード)を追加
- ▶ デジタル画面でも見やすいレイアウトに変更
- ▶ 改正医薬品医療機器等法で創設された医薬品等行政評価・監視委員会の記載を追加(P6)

### 「指導の手引き」



- ▶ 新たに高校用の【授業の流れ(例)】を追加(中学校用も引き続き掲載)
- ▶ 学習指導要領との関係を分かりやすく解説
- ▶ 全体を見やすいレイアウトに変更

### 「視聴覚教材」(動画)



- ▶ 医薬品等行政評価・監視委員会についての解説を追加
- ▶ ナレーションを再収録

### 「実践事例集」



- ▶ 中学・高校での新たなモデル実践例を追加

## モデル授業に挑戦してみませんか？

- ▶ 先生方の授業実施の参考となる「実践事例集」を充実するため、モデル授業に挑戦していただける中学校・高校を募集しています
- ▶ 厚生労働省職員と打合せしながら、授業計画の策定に向けた支援や講師派遣の調整等の各種サポートをいたします(授業当日の職員の見学や、アンケート回答に御協力ください)
- ▶ 教材の追加配送も、ご連絡いただければ対応いたします



【ご相談・ご応募先】厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室

担当：大島、鶴池、久保、江口、小関

E-mail : fukutai01@mhlw.go.jp 電話番号：03-3595-2400 FAX：03-3501-2052

## 薬害被害者の方の講師派遣が可能です

- ▶ 全国薬害被害者団体連絡協議会(薬被連)において、薬害被害者の方の講師派遣を行っており、出前授業や講話をお願いすることが可能です(以下の宛先にメールでご依頼ください)
- ▶ なお、モデル授業にご応募いただき、授業の中で出前授業や講話を実施する場合は、厚生労働省にて薬被連と調整いたしますので、改めて薬被連に依頼する必要はございません

【講師派遣専用アドレス】全国薬害被害者団体連絡協議会



E-mail : yakuhiren.lecturer@gmail.com

先生方からは「被害者の苦しみに対する共感、被害者の受けた偏見・差別と基本的人権の尊重など、様々な観点で生徒の理解が深まった」との声をいただいています

ご応募・ご依頼を心よりお待ちしております